

教育委員会臨時会会議録

令和5年7月26日（水）

教育委員会臨時会会議録

令和5年7月26日午後1時00分教育長竹内清が教育委員会臨時会を茅ヶ崎市役所本庁舎4階会議室1・2・3に招集した。

1 会議出席委員は、次のとおり。

教育長 竹内 清 委 員 赤坂雅裕 委 員 中馬智子
委 員 伊藤甲之介 委 員 大森美保子

2 会議出席事務局職員は、次のとおり。

教育推進部長 村上穰介 教育指導担当部長 木村千裕
教育総務課長 関 健次 学校教育指導課長 力石裕司
教育センター所長 松永昭治

3 会議の大要は、次のとおり。

午後1時00分開会

○教育長 定刻となりましたので、ただいまから教育委員会臨時会を開催いたします。

日程第1 教委報告第35号令和6年度使用小学校教科用図書の採択についての答申についてを議題といたします。これまでに学校ごとの調査研究、専門性のある先生方による調査研究、またそれらをもとにして、採択検討委員会において、さらに調査研究を行っていただきました。

初めに、答申に至る経過についてご説明いただき、その後、採択検討委員会の答申を受けた上で審議を行いたいと思います。

それでは、担当事務局より答申に至る経過について、ご説明をお願いいたします。

○学校教育指導課長 日程第1 教委報告第35号令和6年度使用小学校教科用図書の採択についての答申についてにつきまして、学校教育指導課長よりご説明申し上げます。議案書1ページをご覧ください。

初めに、答申に至る経過についてご説明申し上げます。茅ヶ崎市教育委員会は、令和5年度が小

学校教科用図書の採択替え年度になっていることに伴い、令和6年度から使用する小学校教科用図書の採択に向け、茅ヶ崎市教科用図書採択検討委員会を設置いたしました。

5月18日の教育委員会定例会におきまして、採択検討委員会の委員として、市内小中学校の校長会の代表、教員の代表、保護者の代表、合わせて10名の方々を委嘱させていただき、令和6年度から使用する小学校教科用図書の調査研究について、諮問いたしました。

採択検討委員会では、県の採択方針及び市の採択基本方針を基に、県教育委員会が作成した「小学校、義務教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和6、7、8、9年度使用）」や、市内の公立小学校を元に調査研究を行い、報告いただいた資料を事務局が集計した「令和6年度使用茅ヶ崎市教科用図書の学校単位調査研究結果のまとめ」や採択検討委員会が、茅ヶ崎市寒川町の小学校の52名の先生方に調査研究を依頼し、5月24日、6月1日、6月8日の3日間にわたる調査研究の内容をまとめた、「茅ヶ崎市寒川町教科用図書採択に係る調査員作業による調査資料（令和6年度使用小学校教科用図書）及び展示会の意見等を参考資料としながら、5月23日、6月30日、7月5日、7月12日の4日間にわたる研究協議を行い、その結果を、4ページから30ページの答申資料としてまとめ、教育委員会に答申したところです。答申内容につきましては後ほどご説明させていただきます。

また、神奈川県立総合教育センター並びに湘南地区教科書センターにおける法定展示、茅ヶ崎市立図書館における教科書の常設展示のほか、教育センター教育研修室における市民を対象とした見本本の展示会を6月20日から6月30日までの土・日・月を除く8日間実施いたしました。

なお、理科及び生活の教科書を発行している信州教育出版社につきましては、見本本の提供がなかったため、編修趣意書等を使用して調査研究を行いました。

以上、簡単ではございますが、本日までの経過についてご説明させていただきました。

○教育長　ここまでで何かご質問等はございますでしょうか。

それでは引き続き、採択検討委員会からの答申につきまして、担当事務局よりご説明をお願いいたします。

○学校教育指導課長 それでは答申内容を読み上げる形で説明に代えさせていただきます。

3 ページをご覧ください。

令和6年度使用小学校教科用図書の採択についての答申について

茅ヶ崎市教科用図書採択検討委員会

茅ヶ崎市教科用図書採択検討委員会は、茅ヶ崎市教育委員会が採択する令和6年度使用小学校教科用図書について、調査研究及び協議し、検討結果を次のように茅ヶ崎市教育委員会に答申する。

1 令和6年度使用小学校教科用図書については、各教科書発行者から送付された見本本の調査研究を、「小学校用教科書目録」、「教科書編修趣意書」、県教育委員会の「採択方針」「教科用図書調査研究の結果」、茅ヶ崎市の「調査資料」、「学校単位調査・研究結果のまとめ」等の資料を踏まえるとともに、児童・学校・地域等の状況を考慮した上で、学習指導要領の趣旨に基づき慎重かつ公正に行った。

2 その協議結果を、別紙資料に示す。

以上でございます。ご承認のほどよろしくお願いいたします。

○教育長 説明が終わりました。

それでは、委員の皆様から、答申につきましてご質問等がございましたら伺いたいと思います。

いかがでしょうか。

本日報告していただいた答申や、その答申添付資料ができるまでに4回に渡る採択検討委員会において、調査研究をしていただいていると説明がありました。

また、学校単位調査、研究結果のまとめや調査員の皆様がまとめた調査資料などを踏まえ、調査研究を行っていただいているとの説明もありました。

本日は、これまでの調査研究の成果を大切にしながら、茅ヶ崎の子どもたちにとってふさわしい教科書を採択採択していきたいと思えます。

それでは、日程第1、教委報告第35号令和6年度使用小学校教科用図書の採択についての答申についての報告を終了いたします。

次に日程第2 教委議案第55号令和6年度使用小学校及び特別支援学級教科用図書の採択についてを議題といたします。

担当事務局よりご説明をお願いいたします。

○学校教育指導課長 日程第2 教委議案第55号令和6年度使用小学校及び特別支援学級教科用図書の採択についてにつきまして、学校教育指導課長よりご説明いたします。

採択検討委員会の答申をご参照の上、小学校の13種目の教科書について、順次ご審議の上、種目ごとに1者に絞っていただき、その後、議案書32ページ及び33ページにあります別紙資料1、2の令和6年度使用小学校及び特別支援学級教科用図書につきまして、神奈川県教育委員会の採択方針及び茅ヶ崎市教育委員会の採択基本方針に基づき、採択していただきたいと思えます。以上でございます。

○教育長 説明が終わりました。教育委員の皆様は、お忙しい中それぞれには、採択に向けて、研究を重ねてこられたと思えます。

研究及び皆様の知見をもとに、すべての教科書について、種目ごとに発行者を1者に絞り込んで参りたいと思えます。

まず、国語の教科書から1者に絞り込んで参ります。改めて、教科書見本本等を確認しながら、お考えをまとめていただくための時間を少し取り、そのあとで、ご意見を伺いたいと思えます。

では、ご確認よろしくお願ひします。

それでは、ご意見をいただきたいと思えます。伊藤委員お願ひいたします。

○伊藤委員 私は、光村図書出版の教科書をお勧めしたいと思えます。

基礎・基本の大切さは言われてるところですけども、国語は言葉について学ぶ教科です。そのよ

うな意味では、国語で学習した内容はすべての教科の基礎になると思います。

光村図書出版の教科書は、カリキュラム・マネジメントの観点から、他教科との関連を図ることができる教材が掲載されており、学習したことを他教科や日常生活に広げて活用できるようになるなど、教科等横断的な学習の成果が期待できると考えます。以上です。

○中馬委員 読書は子どもたちの世界を広げる大切な活動だと思います。

教育出版の教科書は、読書活動の充実に繋がるよう、各学年の「読書の広場」に、上巻には情報に係る読書教材を、下巻には交流に係る読書教材が設定されており、子どもたちが読んでみたいと思えるような、多くの本の紹介がされています。自分が読みたい本を見つけるための手がかりにもなり、様々な本に親しみながら読書習慣を身に付けることができると思います。よって、私は教育出版の教科書がよろしいかと思えます。

○大森委員 国語の学習を通して、子どもたちには、語彙が豊かになることを願っております。その点におきまして、光村図書出版の教科書は、思考や表現の助けとなる語彙を獲得することで主体的に学習に取り組めるよう、巻末には「言葉の宝箱」というものが記載されています。ここでは国語の学習でよく使われる言葉・語彙が、2年生から6年生まで系統的にまとめられており、大変参考になりました。言葉に親しみながら語彙を増やしていく、そのような授業に期待を持ちたいと思います。以上です。

○赤坂委員 私も光村図書出版がよいと思います。

学校単位調査からわかりますように、光村図書出版の教科書は茅ヶ崎の学校の先生方から支持を多く集めています。それが最大の理由です。

それから、茅ヶ崎市の多くの先生方の授業スタイルとして、学習の最後に、児童が振り返る時間を設けていると認識しております。振り返る、という学習はとても重要だと考えております。

光村図書出版の教科書は、各単元の終わりには、1年生は1つ、2年生以上は3つの評価の観点で振り返りができる「ふりかえろう」というものが設定されており、自らの学びの自覚を促し、次の学びへの意欲に繋がるかと思えます。よって私は、光村図書出版を推します。以上です。

○教育長 それでは、私からですが、私は東京書籍の教科書をお勧めしたいと思いました。

学習指導要領では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成することを目指す必要があると示されています。

東京書籍の教科書は、思考を整理したり、深めたりするツールとして、ノートづくりを重視していることがうかがえました。紙のノートを基盤とする「国語のノートの作り方」から、デジタル端末を活用して試行する「デジタルノートの作り方」が設けられており、ノート作りを通して、思考を磨き、言葉をつむぐことに繋がるというふうに思います。

他にいかがでしょうか。

ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる国語の教科書の発行者が、光村図書出版と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、国語につきましては、光村図書出版の教科書を採択することに決めます。

続きまして、書写の教科書を1者に絞り込んで参ります。改めて、教科書見本本等を確認しながら、お考えをまとめていただく時間を少し取りまして、ご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしく願いいたします。

そろそろ、よろしいでしょうか。それでは、ご意見をいただきたいと思います。

○中馬委員 文字を正しく整えて書くことは、書写の学習で身に付けたい力で、そのためには、学習の習慣化が大切であると考えます。光村図書出版の教科書は、1年生から3年生に、表紙の裏の部分に、「書写のやくそく」が掲載されていて、書くときの姿勢や鉛筆の持ち方など、大切なポイントを意識して学習に取り組むことで、習慣化が図れるのではないかと思います。よって、光村図書出版がよろしいかと思いました。

○大森委員 私は教育出版の教科書をお勧めしたいと思います。

学校では、タブレット端末が導入され、子どもたちも早い段階からスマートフォンなどをもち、

コミュニケーションの在り方も変化してきています。けれど、このような時代だからこそ、子どもたちには言葉を大切にし、語彙を豊かにしてほしいと願います。

書写の授業で、日常生活や他教科との繋がりを意識した指導を行うこと、それは語彙の充実に繋がると考えています。授業で身に付けた力が、学校生活や各教科における学習活動のどの場面で生かせるのかがすぐに確認できるよう、教科書には「レッツ・トライ」という見出しが随所に記載されています。

例えば、社会で生かす「レッツ・トライ」、理科で生かす、普段の生活で生かす、そこまで言葉が示されています。

先生方の指導の過程においても、また、他教科の繋がりを作りやすい教科書になってるように感じております。以上です。

○伊藤委員 学んだことが日常生活に生かせる経験を積み重ねることで、子どもたちの学びは、より深まっていくものだと考えます。どのように学ぶかということは、とても大事なことだというふうに私は考えます。

東京書籍の教科書は、3年生以上が硬筆で課題を見出し、毛筆で課題を解決し、硬筆で振り返るという単元構成となっています。学習を通して、毛筆の学習が日常で使う硬筆に繋がることを実感できるのではないかと思います。よって私は、東京書籍の教科書をお勧めいたします。

○赤坂委員 光村図書出版がよいと思います。児童が書写の学習で身に付けた力を、国語科をはじめとする各教科、学習場面や日常生活で活用できることは、学習の意義を実感することに繋がると考えます。

そのような観点から考えますと、光村図書出版の教科書は、6学年に横書きの書き方、原稿用紙の書き方、手紙の書き方、ポスターの書き方など、6年間で学ぶことは、書写ブックに整理して掲載されており、学びを振り返ることができ、各教科や日常生活に生かしやすいのではないかと考えます。

また、6年間の学びがまとめられていることは、中学校における学習へのスムーズな接続に繋が

ると考えます。よって私は光村図書出版を推します。以上です。

○教育長 それでは、私から意見を申し上げます。私は光村図書出版の教科書を推したいと思えます。

書写の学習におきましては、筆づかいが非常に重要でありまして、特に、低学年におきまして、筆の動かし方、運び方である運筆に気をつけることが定着すると、毛筆の学習にスムーズに繋がっていくと思えます。

そのような観点から考えますと、光村図書出版の教科書は、運筆における筆先の形がわかりやすく、イラストとともに示されているため、低学年の児童が運筆に興味を持って学習に取り組めるのではないだろうかというふうに思いました。

他にいかがでしょうか。

ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる書写の教科書の発行者は光村図書出版と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、書写につきましては、光村図書出版の教科書を採択することに決めます。

次に、社会の教科書を1者に絞り込んで参ります。改めて、教科書見本本等を確認しながら、お考えをまとめていただくための時間を少しとりまして、そのあとでご意見を伺いたいと思えます。

そろそろよろしいでしょうか。それでは、意見をいただきたいと思えます。

○教育長 それでは、私から意見を申し上げます。私は、日本文教出版の教科書をお勧めしたいと思えました。

これからのグローバルな社会を生きる子どもたちにとって、世界規模の課題をより身近に感じ、当事者意識を持って解決に向かおうとする態度を育むことが重要であると考えています。

その点で、日本文教出版の教科書は、SDGsを意識できるように、端末に貼ったり剥がしたりできる「SDGsの目標シール」が準備されており、学習している内容がどうSDGsと関連しているかを意

識しながら学ぶことができ、持続可能な社会の担い手としての意識が醸成されるのではないかなど期待できると思います。以上です。

○伊藤委員 私は教育出版の教科書をお勧めしたいと思います。

かながわ教育ビジョンの教育目標に示された「他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる」という観点から考えてみました。

教育出版の教科書は、多様性社会に向けての意識が醸成されるよう、車椅子に乗った子や、服装による男女の区分けがされないような挿し絵が掲載されており、多様な人々が共生する社会への参画に向けた関心を高めながら、問題意識を持って社会科の学習に取り組めるのではないかと考えます。以上です。

○赤坂委員 私は東京書籍がよいと思います。

教室には様々な児童がいます。すべての児童にとってわかりやすい教科書であることが望まれます。この東京書籍の教科書は、様々な面で配慮されていると感じました。

例えば、中学年の教科書は、本文を大きな文字で表記され、一つひとつの資料も大きく掲載されており、特別支援教育の視点を踏まえたり、児童の発達段階に配慮されたりしているものであると感じました。6年生のこの教科書では、歴史編と政治国際編の2つに分けて構成されています。こういったことから、東京書籍が素晴らしいと思いました。よって私は東京書籍を推します。

○中馬委員 子どもたちが学ぶ際に、興味や関心を高めるには、子どもたちにとって身近な題材であることが重要だと考えます。教育出版の教科書は、藤沢市、箱根町、横浜市等、県内地域が多数掲載されており、子どもたちが社会科の学習を身近に感じられ、興味や関心が高まるとともに、教科書での学びが実社会につながっていることを意識できる「実感を伴った学び」も期待できると思います。よって私は、教育出版の教科書がよろしいと思います。

○大森委員 私も教育出版の教科書をお勧めしたいと思います。社会科においては、児童・生徒が自ら課題を見出して、その課題を追求していく、問題解決的な学習がとても大切だと考えています。

この点におきましても、教育出版の教科書は、問題解決的な学習が進められるように、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の流れが構成・展開されていますし、それが目に見えて示されています。

その中で、子どもたちがどの段階を学習しているのかを確かめながら進めることができるようになっていてと感じました。このことは、子どもたちが見通しを持ちながら、主体的に学ぶことに繋がるのではないかと思います。

○教育長 私は先ほど1者挙げさせていただきましたが、もう1者挙げたいと思いました。

各者とも内容が充実している反面、子どもたちが持ち運ぶには、かなりの分量となっているというふうに思います。

また、茅ヶ崎市には学区の広い学校もございまして、長い距離を歩いて登下校している子どももいるかと思います。

東京書籍の5年生、6年生の教科書は、2冊に分冊されていてですね、子どもたちの持ち運びの負担が軽減されると思いました。また、6年生の教科書は、「歴史編」と「政治・国際編」というように分野ごとに分かれており、学びやすいのではないかと思いますので、東京書籍の教科書も推したいと思います。

○伊藤委員 私はやはり教育出版の教科書を推したいと思います。

社会科の学習においては、質の高い資料を効果的に提示し活用することで、主体的な学び、対話的な学び、深い学びにつなげることができると思います。

教育出版の教科書は、6年生の戦争と人々の暮らしにおいて、昔の白黒写真をカラー化して、児童にとって印象的で色鮮やかな資料として掲載されていて、その時代の様子を想像し、現在の繋がりとして考えたり、戦争を自分ごととして捉えたりすることが期待できるのではないかと思います。以上です。

○教育長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思える社会の教科書の発行者は、教育出版と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、社会につきましては、教育出版の教科書を採択することに決めます。

続きまして、地図の教科書を1者に絞り込んで参ります。改めて教科書見本本等を確認しながら、お考えをまとめていただく時間を少し取りまして、そのあとでご意見を伺いたいと思います。それではよろしく願いいたします。

そろそろよろしいでしょうか。それでは、ご意見をいただきたいと思います。

○赤坂委員 私は帝国書院がよいと思っております。

子どもたちの防災意識を高めることが喫緊の課題であると考えており、防災教育に強く取り組んでいく必要があると思っております。

その点、帝国書院の教科書は、自然災害に備え、自らの身を守るために何ができるかを考えられる自然災害と防災を重視し、4ページに渡って、日本で起きた主な自然災害や、自然災害の備えなどについて掲載されております。

特に、避難方法などを自発的に考えることもできる防災マップづくりの取組は、社会との関わりの中で防災意識を高めていくことが期待でき、とてもすばらしいと思います。よって、私は帝国書院を推します。以上です。

○伊藤委員 授業において、言語能力の育成に向けた学習活動はとても重要であると考えます。このことは、学習指導要領でも示されているところでございます。

東京書籍の教科書は、主体的な学び・対話的な学び・深い学びに繋がるよう、資料を見ながら、地域の特色を捉えその理由を考える学習活動である「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ↑」が設定されており、1人でじっくり考えたり、友達と相談したりするなど、楽しみながら学習に取り組める工夫がされていると思います。以上です。

○教育長 それでは私から意見を申し上げます。

これまでのコロナ禍を経験し、これからの予測困難な時代を生きていく子どもたちには、決して希望を失うことなく、様々な変化に積極的に向き合っ、あらゆる困難な状況にあっても、他者と協働しながら、課題を解決してほしいと思います。そうした願いを持って見て参りますと、帝国書院の教科書は、SDGsの実現に向けた、世界の様々な課題が地図上に示されており、その解決の取組例が掲載されていることから、持続可能な社会の実現を自分の課題として考えられるとともに、他者と考えたことを共有することで、多様な考えに触れ、様々な課題を解決しようとする力が育まれると思います。こうした理由から、帝国書院の教科書を推したいと思います。

○大森委員 教室で学ぶ児童は、学力、性格、得手不得手など、多様であるということが分かっています。すべての児童にとって学びやすい環境が必要です。

教科書も同様に、誰にとっても使いやすいことが重要であると考えます。その点において、東京書籍の教科書は、地図の中の文字や記号にUD体が使用されており、わかりやすい、見やすい、それから地名の文字がふちどりされていて、文字情報を読みやすくしたり、地形の印影の表現をなくして、複雑に見える部分をシンプルにしたりしていることで、すべての児童にとって見やすい工夫がされていると思います。以上です。

○中馬委員 私は、帝国書院の教科書がよろしいかと思っています。

地図帳を3年生から4年間使用することを考え、耐久性という観点から検討することも大切だと思います。帝国書院の教科書は、4年間の使用に耐えられるように、また、持ち運びの際に子どもの体に負担をかけないように、軽量で丈夫な地図専用紙を使用しているとのこと。社会科だけでなく、様々な教科の学習と関連づけて活用できる地図帳だからこそ、4年間に渡り子どもたちがいつでも手に取って、様々な場面で活用できるよう、丈夫で、使いやすいものであることが大切だと思います。

○伊藤委員 私は最終的には、帝国書院をお勧めしたいと思います。

3年生から6年生まで使用する地図帳については、発達段階に配慮した教科書であることが望まれます。3年生で初めて地図帳を手にする子どもたちにとっては、地図から得られる情報が多過ぎ

ると、かえって学ぶ意欲をそがれてしまうことも考えられます。

帝国書院の教科書には、3年生でも地図に親しめるよう、地名を精選し、都道府県の特徴を示すイラストを随所に取り入れた「広く見わたす地図」が掲載されています。発達段階や活動内容などに応じて、「広く見わたす地図」と、詳細な地図である「くわしく見る地図」を効果的に使うことは誰にとっても学びやすくなることに繋がるのではないかと思います。以上です。

○教育長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議からですね、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる地図の教科書の発行者は帝国書院と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、地図につきましては、帝国書院の教科書を採択することに決めます。

事務局の方で教科書の入れ替えをお願いいたします。

続きまして、算数の教科書、1者に絞り込んで参ります。改めて教科書見本本等を確認していただきながら、お考えをまとめていただくための時間を少しとりまして、そのあとでご意見を伺いたいと思います。それではよろしくをお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは、ご意見をいただきたいと思います。

○大森委員 教科書を採択するにあたっては、実際に授業を行う先生方の意向を踏まえることをとても大切な視点だと感じました。

学校単位調査の結果に着目しました。先生方の支持を多く集めている東京書籍の教科書は、5・6年生で子どもたちがつまずきやすい分数の計算について、学習課題の提示から問題を解く方法まで、とても丁寧な解説が示されていると感じ、子どもたちの理解しやすさや、先生方の教えやすさに繋がるのではないかと思いますので、東京書籍の教科書をお勧めします。

○伊藤委員 私は新興出版社啓林館の教科書をお勧めします。

学習指導要領の算数科の目標に、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う

ことが示されています。

新興出版社啓林館の教科書、わくわく算数は、6年生の教科書の巻末に、「未来へのどびら お仕事インタビュー」というページが設けられており、様々な職業の人が仕事と算数や、これから学ぶ数学との繋がりについて話している記事が掲載されていて、子どもたちが算数で学習することの有用性を、どのように学ぶか、何ができるか、何ができるようになるか、そのようなことを実感できるのではないかと思います。

○赤坂委員 私は算数に関しましては2者を推します。

1者目は、私は教育出版がよいと思います。

令和の日本型学校教育の1つとして、個別最適な学びというのが挙げられております。その点、教育出版の教科書は、2年生以上の巻末に、「自分で取り組むページ」というのがありまして、自分の学習を進み具合に合わせて取り組むことができるコーナーが設けられており、児童一人ひとりが主体的に学習を調整しながら進めていくことができるのではないかと思います。

次に2者目ですが、日本文教出版です。数学的活動におきまして、児童の主体的な学びを実現するためには、問題解決までの見通しを持って取り組めるようにすることが大切であると考えております。その観点からしますと、日本文教出版の教科書は2年生以上の巻末に切り離して使える「学び方ガイド」という付録が掲載されておりまして、学習過程や学習をする際のポイントが、児童の発達段階に応じて、わかりやすく示されています。そしてこのことは児童だけでなく、経験の少ない教員にとっても、学習過程を明確にした授業づくりに役立つのではないかと思います。

以上、私は教育出版と日本文教出版がよいと思います。

○教育長 それでは私から意見を申し上げます。これからの時代に求められる力として、学習指導要領では、学習の基盤となる資質能力に情報活用能力が位置付けられております。

その点から見ますと、東京出版の教科書は、5年生以上のデータの活用領域の単元において、問題、計画、データ収集、分析、結論のPPDACサイクルが示されておりまして、子どもたちが、統計的な問題解決のよさに気づいて、身近な生活場面の問題を、データの収集や整理、分析などを通し

て解決しようとする態度を養うことに繋がるのではないかなと思いますので、東京書籍の教科書を推したいと思います。

○中馬委員 私も東京書籍の教科書を推したいと思います。

どの教科でも知っていることや、身近なものを題材として扱うことで、学習する子どもたちの興味・関心を引き出すことに繋がるのではないかと考えます。東京書籍の教科書は、低学年における単元の導入では、身近なものの写真が多数掲載されています。さらに、6年生の教科書の巻頭には茅ヶ崎市出身の宇宙飛行士の野口聡一さんが題材として取り上げられていて、茅ヶ崎市の子どもたちにとって、算数と実生活のつながりを感じながら、学習に取り組めることが期待できると思います。

○教育長 ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる算数の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょう。

(「異議なし」の声あり)

それでは、算数につきましては、東京書籍の教科書を採択することに決めます。

次に、理科の教科書を1者に絞り込んで参ります。理科の教科書は、先ほど事務局からの説明にありましたように、信州教育出版社の見本本の提供がございません。改めて教科書見本本等を確認しながらお考えをまとめていただくための時間を少しとりまして、そのあとでご意見を伺いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

ご確認はよろしいでしょうか。

審議入る前に、発言の訂正をお願いいたします。先ほどの算数の教科書に当たりまして、私からご意見を申し上げました中で、発行者名を東京出版と発言いたしましたが、東京書籍に訂正させていただきます。

それでは、理科の教科書につきまして、ご意見をいただきたいと思います。

○赤坂委員 私は大日本図書がよいと思います。学習指導要領に小学校の理科の学習においては、

自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うよう示されております。

児童が自然や科学的事象に関心を持てるようにすることが極めて大切であると考えております。その点、単元の初めの見開きページに学習内容に関係する絵や写真が大きく掲載されている大日本図書の教科書は、それぞれの場面の導入段階で、児童の興味がわくように工夫されており、児童が主体的に学習に向かう態度を育むことに繋がると思います。よって私は大日本図書を推します。以上です。

○教育長 それでは私から意見を申し上げます。私も大日本図書の教科書をお勧めしたいと思えます。

学習指導要領には、理科の目標といたしまして、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物、現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質、能力を育成することを目指す、と示されています。

その観点で、大日本図書の教科書では、系統立てた学習の流れの中で、問題解決力を身に付けられるよう、巻頭の「理科の学び方」に、「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」という道筋が示されています。問題解決の過程におきまして、どのような考え方で思考を深めていくかがわかりやすく記されておりまして、これに基づいた活動を通して、児童の思考力、判断力、表現力等を高められると思います。以上でございます。

○中馬委員 私は東京書籍の教科書がよろしいと思います。茅ヶ崎市教育基本計画の政策の1つとして、「児童・生徒の資質と能力をはぐくむための授業づくりと学びを支える体制の構築」が掲げられており、その施策の1つに「ICT環境の充実」があります。東京書籍の教科書は、二次元コードから繋がる多様なデジタルコンテンツが設定されていて、児童がタブレット端末を活用することで、主体的に問題解決に取り組めるよう工夫されており、個別最適な学びに繋がると思います。

○伊藤委員 教育課程全体を通して育成を目指す資質能力の3つの柱の1つに、「何を理解しているか、何ができるか」という、生きて働く知識・技能の習得が挙げられています。

教育出版の教科書は、各章末に設けられた振り返りのページに、単元の導入時と終末での自らの

考えの変化に気づき、学習を通して自分の成長を実感することができるよう、学習前後の問いが並べて掲載されており、各単元での学習による自分自身の変容を実感しやすい工夫がされていると思います。よって、私は、教育出版の教科書をお勧めいたします。以上です。

○大森委員 私は、大日本図書の教科書をお勧めしたいと思います。主体的・対話的で深い学びを実現するためには、授業がとても大事だと考えております。授業において、児童同士が関わり合う中で、一人ひとりの考えを深められるような工夫が必要だと思います。その点におきましても、大日本図書の教科書は、発達段階に応じて、理科の見方、考え方を活用して学習を進められるよう、実験や観察に必要な着目点が、「ここに注目」というかわいいキャラクターのもと示されていますので、児童にとってもわかりやすいですし、話し合うべき視点が明確化され、新たな気づきから学習の深掘りが期待できると思います。以上です。

○教育長 ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる理科の教科書の発行者は大日本図書と考えますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

それでは理科につきましては、大日本図書の教科書を採択することに決めます。

続きまして、生活の教科書を1者に絞り込んでまいります。生活の教科書は、先ほど事務局からの説明にございましたように、信州教育出版社の見本本の提供がございません。改めて教科書見本本等を確認しながら、お考えをまとめていただくための時間を少しとりまして、そのあとでご意見を伺いたいと思います。

ご確認はいかがでしょう。それでは、ご意見をいただきたいと思います。

○教育長 それでは私から、意見を述べさせていただきます。

私は東京書籍の教科書をお勧めしたいと思います。生活科におきましては、具体的な活動や体験を通して、気づいたことをもとにして考えたり、表現したりする活動が重視されております。

学習内容の理解を深めるためには、活動の元となる児童の気づきの質を高めることが大切である

と思います。

その点で、東京書籍の教科書は、「学びをふかめる」という箇所には、一人ひとりの気づきを友達の気づきと関連づけたり、気づいたことを視点を改めて捉え直したりすることが例示されています。

また、児童が協働的に学んでいる様子や教室のレイアウトなどがイラストで示されておりまして、授業者にとっても、主体的・対話的で深い学びに向けた授業展開を考える上での、大きなヒントになるのではないかなというふうに思います。

○伊藤委員 私は、大日本図書の教科書がよいと思います。学習したことを振り返り次の学習につなげていくことは、生活科に限らずどの学習においてもとても大切なことだというふうに思います。

大日本図書の教科書は、自分の思いを書き込むスペースが随所に設けられており、自らの学びを振り返り、記録に残すことで、成長を実感することができると思います。

また、イラストで自分の気持ちを表現できる「きもちマーク」が設定されているので、文章で書き表すことに慣れていない1年生でも、活動を通して考えたことや感じたことをマークで表現することで、早い段階から振り返りが習慣化されると思います。

○大森委員 かながわ教育ビジョンには、「子ども一人ひとりの個性と能力を大切に、共に成長する場としての学校づくりを進める」ことが示されています。

これを踏まえて、生活科の学習では、児童一人ひとりの思いや願いを大切にしながら、ともに学び合う場面をつくるのが大切であると考えます。その点におきまして、私は光村図書出版の教科書を推したいと思います。教科書のコンセプトづくりから携わった茅ヶ崎市に所縁のある絵本作家のイラストや言葉を用いて、児童一人ひとりの個性的な学びを大切にしている、かながわ教育ビジョンの方針にも合っているのではないかと考えました。以上です。

○赤坂委員 私は、大日本図書がよいと思います。

生活科ですから小学1年生から使用し、入学したての1年生の児童というのは、新たな環境への

期待が高い一方で、様々な不安や心配もあるのではないかなと思います。

大日本図書の教科書の「できるよ やってみるよ」というコーナーがあるんですが、その学習では、学校生活の中で取り組むことを、「ちょうせん」として、写真やイラストで紹介するとともに、困ったときに「せんせい てつだってください」という言葉を掲示しています。

これで、学校生活で困ったときには、誰かに、先生に相談すれば助けてもらえるということが学ぶことができると思います。このことは児童が自ら SOS を発信する力、助けを求める力を養い、学校生活で起こり得る様々な問題解決にも繋がるととても大切なことだと思います。よって私は大日本図書を推します。以上です。

○中馬委員 私は光村図書出版の教科書がよろしいかと思います。生活科を構成する 9 項目の内の 1 つに、家庭生活に関わる学習を進める上での家庭との連携は大変重要であると思います。光村図書出版の教科書は、保護者の協力を仰ぎたい内容や家庭での言葉かけのヒント等を示した「保護者の皆様へ」というところが随所に設けられていて、保護者の理解や協力を得ながら、児童の活動を広げたり、学びを深めたりするための工夫がされていると感じます。

また、小学校生活をスタートさせたばかりの 1 年生の保護者にとっても、学校での学習がどのように展開していくのか、家庭ではどのようなことができるのかを知る機会となり、保護者の安心にも繋がるのではないかと思います。

○伊藤委員 私は教育出版の教科書もよいのではないかと思います。生活科の学習において、学習指導要領では、他教科との関連を積極的に図り、中学年以降の教育へ円滑に接続できるようにすることが示されています。

教育出版の教科書は、巻末の「学びのポケット」で生活科の学習を、他教科と結びつけられるような工夫がされています。

また、「社会科へのまど」や「理科へのまど」が掲載されていることで、中学年以降の社会科や理科の学習への関心が高められると思います。生活科の学習が、他教科や、中学年以降の学習にどのように広がっていくのかを見通せることで、児童がより主体的に学習に取り組むことが期待でき

るのではないのでしょうか。以上です。

○教育長 それでは、私も生活につきましては、もう1者挙げたいと思います。

生活科の学習におきまして、地域に関わる活動を通して、自分と身近な人々や社会との関わりについて地域に愛着を持つことは、学習効果を高めることに繋がると考えております。その観点から見ますと、大日本図書の教科書の「わたしの町はっけん」の学習では、町探検を通して、様々な人と触れ合うことにより、自分と地域社会との関わりについて気づくことができると思います。

また、単元の終末には、見学やインタビューなどに協力してくれた地域の人を、学習発表会に招待する活動が設定されておりまして、身近な人や地域との関わりを大切にする気持ちを効果的に育むことができるのではないかと思います。

○大森委員 先ほど光村図書出版を推させていただきましたが、私ももう1者、お勧めしたいと思います。大日本図書の教科書です。

この教科書も児童の目線に立って、児童の意欲を引き出すための工夫がされていると感じました。例を挙げますと、A4版を採用し、活動の意欲をかき立てるような見開きで大きな写真を掲載することで、児童の興味や関心を高める工夫がなされていると思います。

また、「あき だいすき」の学習では、児童が想像力を膨らませられるよう、モノクロの写真で秋の景色を紹介し、さらに、同じページに記載された二次元コードから、写真と同じ場所の美しい紅葉の映像を見られるような工夫がされています。

何だろう、すごい、やってみたい、といった期待や感動が児童の学びの原動力になるのではないかと考えます。以上です。

○教育長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる生活の教科書の発行者は大日本図書と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、生活につきましては、大日本図書の教科書を採択することに決めます。

それでは、事務局の方で、教科書の入れ替えをお願いします。

また、ここで少し休憩をとりたいと思います。

(休憩)

それでは、時間となりましたので、再開いたします。

次に、音楽の教科書を1者に絞り込んで参ります。改めて、教科書見本本等を確認していただきながら、お考えをまとめていただくための時間を少し取りまして、そのあとで、ご意見を伺いたいと思います。それでは、よろしくをお願いします。

○伊藤委員 私は、教育出版の教科書をお勧めしたいと思います。学校には様々な支援が必要な子どもが在籍していることから、すべての子どもたちが学習しやすいような配慮が必要です。

教育出版の教科書は、鍵盤ハーモニカの実物大の写真が掲載されていることで、練習の方法に広がりができるのではないかと思います。

また、リコーダーの運指表が引き出せる作りになっており、ページをめくることなく、いつでも指づかいを確認しながら練習でき、子どもたちの技能向上に繋がると思います。以上です。

○大森委員 学習指導要領には、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、児童が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるように工夫することが示されています。

この点におきまして、私は教育芸術社の教科書をお勧めしたいと思います。学習の振り返りができるように、巻末に学習のポイントを示した「ふり返りのページ」が設けられていて、学習したことを整理して、次の学習につなげることができるようになっています。このページにより、指導者にとっても、学習のポイントは明確になるため、授業をされる先生方の授業づくりにも有効であると考えました。以上です。

○赤坂委員 私は、大変迷っております。

音楽の学習では表現及び鑑賞の活動として、「思考力、判断力、表現力等」、「知識及び技能」

に関する内容を相互に関わらせながら、一体的に育てていくことが重要であると思っております。その点、教育出版の教科書は、音楽を構成する要素を総合的に捉えられるよう、「音楽のもと」というコーナーのようなものがありますが、そこで曲の重点が示されており、音楽的な見方・考え方を意識し、考えながら表現を深められる内容となっていると思います。それが非常に優れていると思います。

一方、教育芸術社の教科書ですが、これは音楽と社会の繋がりを意識した学習ができるよう、音楽づくりの教材の中で、著作権についても学べるようになっていきます。また、二次元コードがついており、この二次元コードからは、今後、子どもたちが経験するであろう場面と著作権との関わりなどについて、さらに詳しく知ることができるようになっていきます。この教育芸術社の方の教科書は、ICT環境が変化し続けるこれからの時代に求められる資質・能力を子どもたちに育むことが期待できます。

非常に迷っていますが、私は教育出版と、教育芸術社2者を推したいと思えます。以上です。

○教育長 それでは、私から意見を申し上げます。私は教育出版の教科書を推したいと思えます。

かながわ教育ビジョンの教育目標には、他者を尊重し、多様性を認め合う思いやる力を育てる、と示されています。その観点で見ますと、教育出版の教科書は、全ての学年に全校合唱として共通の曲が掲載されています。1学年から6学年の多様な年齢の子どもたちが、歌声を合わせることの楽しさを感じることで、他者を尊重し、認め合うことに繋がるのではないかと考えております。

また、歌だけではなくて、曲に合わせた手話や足踏みも掲載されているため、子どもたちが仲間と心合わせながら、音楽を楽しむことができると考えております。以上です。

○中馬委員 私も教育出版の教科書がよろしいと思えます。児童が、生活や社会の中の音や音楽との関わりを自ら築き、生活を豊かにしていくことが、音楽科の大切な役割の一つであると認識しております。教育出版の教科書は、「にっぽんのうた」「みんなのうた」で、日本の美しい自然や四季を感じられるよう、美しい写真が見開きや折り込みページで掲載されていて、親しみを持って歌ったり、曲想をイメージしたりするなど、歌唱表現の工夫ができるのではないかと考えております。また、

そのような活動を通して、自分の国の郷土を愛する心や自然を大切にする心が育まれることも期待できます。以上です。

○教育長 ありがとうございます。他にございますか。

ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆さんのご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる音楽の教科書の発行者は教育出版と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、音楽については、教育出版の教科書を採択することに決めます。

次に、図画工作の教科書を1者に絞り込んでまいります。改めて、教科書見本本等を確認していただきながら、お考えをまとめていただくための時間を少しとりまして、そのあとでご意見を伺いたいと思います。それではよろしくお願いいたします。

それでは、ご意見をいただきたいと思います。

○中馬委員 私は日本文教出版の教科書がよろしいかと思えます。児童の造形的な創造活動を支えるためには、材料や用具の安全な取扱いを知ることがとても大切だと思えます。日本文教出版の教科書は、全ての学年に用具の使い方や手入れの方法等を示す「材料と用具のひきだし」が複数ページに渡り掲載されています。基本的な使い方やポイントが分かりやすいイラストや写真とともに示されていて、安心して作品作りに集中できると思えます。

○教育長 それでは私から意見を申し上げます。図画工作につきましては、判断に迷いまして、私は2者を挙げます。学習指導要領に示された内容を学習することはもちろんですが、学習活動の在り方として、自分たちが生活している環境の様々なことに興味や関心を広め、体験や経験に裏付けられた実感を伴うことで、児童の学びはより深まるものだと思います。その観点から、開隆堂出版の教科書は、他教科をはじめとして、学校行事等の繋がりを意識できる、繋がる造形が掲載されており、図画工作の学習を通じて、より効果的に学校生活の充実に繋がっていくことが期待できると思います。

もう1者といたしまして、日本文教出版の教科書は、多様な視点で作品を楽しむことができるよう、全ての単元が鑑賞から表現活動に繋がる設定となっています。このように、思い描く豊かな感性を育みながら、作品をつくり出す喜びを味わうことができる学習形態が、茅ヶ崎市教育基本計画の基本方針の1つでございます「未来を拓く力をはぐくむ学校教育の充実」に、沿うものと考えます。以上です。

○大森委員 私は開隆堂出版の教科書をお勧めしたいと思います。それぞれの学校が教育課程を編成する際、カリキュラム・マネジメントの視点がとても重要であるかと思えます。各教科等及び各学年相互の関連を図ることが求められているのではないかと考えます。その点におきまして、開隆堂出版の教科書は他教科等と複合的に学びを促進できるよう、見開きページ右下に「あわせて学ぼう」が掲載されており、教科横断的な学習を促すことが期待できると考えました。以上です。

○伊藤委員 私も開隆堂出版の教科書をお勧めしたいと思います。かながわ教育ビジョンには、教育目標の1つとして社会と関わる力が掲げられていますが、社会との関わりの中で自己を調整させ、社会に貢献する力を育てていくことはとても大切なことだと思います。

開隆堂出版の教科書は、3・4年生に実生活や地域との繋がりを、5・6年生に世界平和やユニバーサルデザインが取り上げられ、図画工作での学びが実生活やその後の人生にどのように繋がるかについて、身近な事例から社会発達段階に応じて広げ、考えられるようになっていると思います。以上です。

○赤坂委員 私も開隆堂出版がよいと思います。1・2年生の教科書の中に「教室をとび出して」というコーナーがありまして、そこには何と、茅ヶ崎市のサザンビーチでのサンドアートが紹介されてるんですね。これを見たときに私は「これは」と思いました。児童にとってよりサザンビーチという身近に感じられる作品に触れることで、地域社会との繋がりを意識できて、郷土茅ヶ崎への愛着を深められると思います。よって私は開隆堂出版を推します。

○教育長 ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる図画工作の教科書の発行者は

開隆堂出版と考えますが、いかがでしょう。

(「異議なし」の声あり)

それでは、図画工作については、開隆堂出版の教科書を採択することに決めます。

続きまして、家庭の教科書を1者に絞り込んで参ります。改めて教科書見本本等を確認していただきながら、お考えをおまとめいただく時間を少しとりまして、そのあとでご意見を伺いたいと思います。

それではご意見をいただきたいと思います、いかがでしょうか。

○赤坂委員 私は東京書籍がよいと思っております。主体的な学びの実現に向けては、何ができるようになるか、何を学ぶかを明確にし、学習の見通しを持たせること、また、自分の学びを振り返り、次の学びに生かす活動である振り返りを行わせることが大切だと思っております。その点、この東京書籍の教科書は、それぞれの章のタイトルとして、食べて元気、ご飯と味噌汁、人は心を込めて、などが書いてありますが、これが学習者や児童へのメッセージとなっていくとともに、各章が「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップで構成されております。このような流れによる学習の積み重ねが、自ら学ぼうとする姿勢を育むことに繋がると思います。よって、私は東京書籍をします。以上です。

○大森委員 私は開隆堂出版の教科書をお勧めしたいと思えます。学校現場がインクルーシブ教育の考えを持って進められていることは重々承知しております。その中で、学習に困難のある児童に対する配慮はとても大切な視点だと考えます。

開隆堂出版の教科書は、その点におきまして、めくりやすい用紙が使用されて、例えば、調理実習や製作実習の手順については、教科書の下半分は左から右へ順を追って一列で示されています。このような教科書の使いやすい構成は、すべての児童にとってのわかりやすさに繋がると感じましたので、お勧めしたいと思えます。以上です。

○伊藤委員 学習指導要領には家庭科の目標に「生活をより良くしようと工夫する資質・能力」の育成が示されています。

東京書籍の教科書は、巻頭に「家庭科はあなたの生活をよりよく変えていく教科です。」という記載があり、児童が自分が生活の主体であるという意識を持てるようになっていきます。このことにより、何のために学ぶのかについて自身の生活と関連づけながら価値を見だし、主体的に学習に取り組むことに繋がると感じます。従って私は、東京書籍の教科書をお勧めいたします。

○中馬委員 東京書籍の教科書がよろしいかと思えます。

かながわ教育ビジョンでは、「思いやる力」「社会とかかわる力」「たくましく生きる力」を教育目標として掲げています。東京書籍の教科書は、「SDGs でつくる私たちの未来」というページや、様々な分野の「プロに聞く！」が掲載されていて、学習を通して人とのつながりや社会との関わりについて学ぶことができます。このことは、神奈川県教育理念の実現に向けて大切なポイントの1つだと思います。

○教育長 それでは私から申し上げます。私も東京書籍の教科書を推したいと思えます。子どもたちの基礎的、基本的な知識や技能の定着に向けては、学習過程において、児童が主体的に学習内容を振り返ったり、知識を確認したりできるようにすることが大切だと思います。

東京書籍の教科書は、学習の基本的な事項をしっかりと確認できるよう、「いつも確かめよう」というコーナーが掲載されておりまして、基礎的な知識や技能習得のための大切なポイントがまとめられています。また、各所に掲載されている二次元コードと併せて、振り返りや家庭学習にも活用でき、児童一人ひとりが確実に知識や技能を身に付けることが期待できると思えます。以上です。

○教育長 ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる家庭の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、家庭につきましては、東京書籍の教科書を採択することに決めます。

それでは事務局の方で教科書の入れ替えをお願いします。

続きまして、保健の教科書を1者に絞り込んで参ります。改めて教科書見本本等を確認しながら、お考えをまとめていただくための時間を少しとりまして、そのあとで、ご意見を伺いたいと思います。それではよろしく申し上げます。

それでは、ご意見をいただきたいと思います。

○大森委員 私は、Gakkenの教科書を勧めたいと思います。主体的・対話的で深い学びの実現に向けては、児童が、自身の生活と健康との関係に気づき、自ら実践に生かすことができるようになることがとても大事だと考えます。

Gakkenの教科書は、日常の中にある学びを見つけて、楽しさを感じられるよう、「かがくの目」や「ほけんのはこ」という項目で、資料が記載されています。大変興味深い内容になっていると感じました。日常を振り返り、学習内容との関連を意識することができて、課題を発見する力や、自らの生活をよりよくする方法を考える力が育まれるのではないかと思います。以上です。

○伊藤委員 学習指導要領には、個人の価値の尊重、男女の平等、自他の敬愛と協力、あらゆる他者を価値のある存在として尊重することなど、人権を大切にすることについて述べられています。

東京書籍の教科書は、様々な登場人物が描かれ、人数や役割も性別による極端な偏りが無いよう配慮されています。成長の個人差や、共生の視点を盛り込むことで、多様性や個人の価値の尊重に向けての意識を醸成できると感じます。よって、私は東京書籍の教科書をお勧めいたします。

○中馬委員 私は光文書院の教科書がよろしいかと思います。児童が身近にある課題気づき関心を持って学習に取り組めるようにするためには、教科書に、発達段階に応じた資料が掲載されていることも大切だと考えます。

光文書院の教科書は、3学年の1章「けんこうな生活」の発展として、スマートフォンやタブレット等の使い方などが掲載されています。児童にとって身近なICT機器の情報をその段階で知るとは、その後の心身の健康のために必要な知識・技能を身に付けていこうとする意欲にも繋がると思います。以上です。

○赤坂委員 私は東京書籍がよいと思います。多様化、複雑化する社会の中で、児童が人生100年

時代を生涯にわたって正しい健康情報を選択したり、健康に関する課題を適切に解決したりする能力を育むことが求められています。

その点、東京書籍の教科書には、身に付けておくと役立つことに「スキル」マークが掲載されています。インターネットによる犯罪被害についてはこういうスキルを持ってもよいでしょうと明示されており、これは大変有効であり役に立つと思います。命や健康を守るためのスキルを、いつでも確認できることで、児童自身が生活の質の向上や健康を維持しながら、情報選択や課題解決に主体的に取り組むことができる教科書になっていると思います。よって、私は東京書籍を推します。以上です。

○教育長 それでは、私から意見を申し上げます。私は大修館書店の教科書がよろしいのではないかと考えました。子どもたちが、心身の健康を維持することの重要性に気づくことができるようになるには、まず、生活の中にある健康や安全に目を向けることが大切ではないかと考えています。

大修館書店の教科書は、3、4年生の教科書の冒頭に、「生活の中のほけんをさがそう!」、それから、「なぜほけんを学ぶのかな?」などが設けられており、身近な生活の中から課題を捉えやすいのではないかと考えました。また、5、6年生の教科書も含め、「もっと学びを広げよう!深めよう!」に写真や新聞記事などの資料が掲載されていることで、学習内容と、日常生活を関連づけることができまして、自分の生活の中での課題を意識しやすいのではないかと考えました。以上です。

○中馬委員 私も東京書籍の教科書を推させていただきます。こちらの教科書は、人との関わりでの不安や悩みがあるときの対処として、相談窓口の電話番号等が掲載されていたり、プロ車椅子テニスプレーヤーのメッセージが取り上げられたりしています。学習を通して、自他の生命を尊重したり、個人の価値を尊重したりする態度が養われることが期待できます。

○教育長 他にいかがでしょう。

ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる保健の教科書の発行者は東京

書籍と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、保健につきましては、東京書籍の教科書を採択することに決めます。

次に、英語の教科書を1者に絞り込んで参ります。改めて、教科書見本本等を確認しながら、お考えをまとめていただくための時間を少しとりまして、そのあとでご意見を伺いたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、ご意見をいただきたいと思います。

○伊藤委員 どの教科においても、児童が主体的に学習に取り組めるよう、何を、何のためにどう学ぶかを明確にし、学習に見通しを持たせることが大切だと考えています。

開隆堂出版の教科書は、全ての単元を8時間配当とし、各単元の学習の流れが明確に設定されていることから、児童が見通しを持って学習に取り組むことができるのではないかと思います。この、見通しを持たせるということはとても大事なことだというふうに私は考えています。ルーティンとなる流れの中に、振り返りの時間を取り入れることで、児童が自らの成長や課題を確かめる力を身に付け、主体的に英語を学び続ける意欲を育むことが期待できると思います。よって私は、開隆堂出版の教科書がよいのではないかと考えます。以上です。

○中馬委員 私は、小学校での外国語学習が、中学校以降も意欲的に学び続けるための土台となると思います。三省堂の教科書は、児童が音声聴いて英語の内容を推測する活動である、音声教材の「世界のおはなし」が掲載されています。

外国語学習の5つの領域の中で基盤となる領域が「聞くこと」であることを踏まえると、小学校段階から児童が英語を聞くことに慣れ親しみながら学習に取り組める教科書だと思いますので、三省堂の教科書がよろしいのではないかと考えました。

○教育長 それでは、私から意見を申し上げます。私は教育出版の教科書を推したいと思いました。外国語を学ぶ際には、言葉だけでなく外国の文化や生活など、その背景を理解することが大切だと考えます。

教育出版の教科書は、身近な外来語を題材として、言語の違いについて興味を持たせ異文化理解を促せるような「Let's Look at the World」というページが掲載されています。日本と海外の違いや共通点を知ることにより興味を持って英語を学び続けることができると思います。以上です。

○大森委員 私は東京書籍の教科書をお勧めしたいと思います。毎時間ごと単元の終わりに、振り返りの場面を設定することは大切であることから、各者とも、単元ごとの振り返りに工夫が見られたと感じました。特にその中でも、東京書籍の教科書は、単元ごとに学習内容を振り返り、整理して発表することができる「Check Your Steps」が掲載されています。学習した内容を、発表活動や振り返り等を通して確認することで、主体的・対話的で深い学びの実現が図られるのではないかと思います。

○赤坂委員 私は教育出版がよいと思います。小学校の英語教育はですね、小中学校における学びの連続性が重要であると考えております。その点、教育出版の教科書は、5・6学年の学びを振り返り、中学校での学びにも活用できるよう、6学年の巻末に「My Book」、好きな英語の言葉などで「My Book」を作ろう、というこんな活動が掲載されております。この教材を通して、児童が小学校での学びにおける達成感と自信を持ち、中学校での学習意欲に繋がる連続性が期待できると考えております。

また別の面からなのですが、学校単位調査の結果に着目しますと、教育出版の教科書は茅ヶ崎市の学校の先生方の支持を多く集めています。非常に圧倒的です。英語については教科化されて2回目の採択となりますが、こんなに支持をされているということは、やっぱり現場で実際使ってる先生方が、教育出版が使いやすい、よいと感じておられるんじゃないかなと判断します。継続して、同じ発行者の教科書を使うメリットもあると思います。どの教科書も非常に優れていると思いますが、現場の茅ヶ崎市の先生方からの支持が非常に強いという視点からも、私は、教育出版を推したいと思います。以上です。

○教育長 ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる英語の教科書の発行者は教育

出版と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは英語につきましては、教育出版の教科書を採択することに決めます。

続きまして、道徳の教科書を1者に絞り込んでまいります。改めて教科書見本本等を確認し、お考えをまとめていただくための時間を少しとりまして、そのあとで、ご意見を伺いたいと思います。

それでは、ご意見をいただきたいと思います。

○教育長 それでは私から意見を申し上げます。私は、光文書院の教科書を推したいと思います。子どもたちが授業を通して学んだ道徳的価値につきましては、自分との関わりの中で捉え直し、自身の課題を見つめたり、生活を振り返ったりしながら、自らの成長を実感できるようにすることが大切だと思います。

その点で光文書院の教科書は、発達段階に応じて「学びの足あと」という、年間の振り返りができる二つ折りの用紙が巻末に織り込まれています。子どもたちが授業での学びをこのページに記録することは、自己の生き方についての考えを深めることに繋がるのではないかと思います。以上です。

○伊藤委員 私は、Gakkenの教科書に注目しました。道徳の時間において、目標や課題を設定し、自分との関わりや経験の中で、そのときの感じ方や考え方を振り返ることは、自己理解に繋がると思います。Gakkenの教科書は、友達や先生、家族などの周囲の人々、社会、環境などとの繋がりの中で自身の成長を感じることができる「つながるわたし 広がるわたし」が巻頭に、「つなげよう 広げよう」が巻末に掲載されており、道徳の学習を通じて、子どもたちが多様な視点から自分自身を見つめ、理解することに繋がると感じました。以上です。

○大森委員 私は光村図書出版の教科書をお勧めしたいと思います。すべての教科に当てはまることだと思いますけれども、特に、道徳科は学習を通して、よりよく生きるための資質や能力を培うという面がとても大きいと思います。

光村図書出版の教科書は、自分の生活に当てはめて考えたり、行動に移したりできるよう「考えよう・話し合おう」「つなげよう」に具体的な問いがあり、道徳の時間に考えたことを日常生活の中でもう一度考え直したり、考えたことを行動に移したりすることで、道徳科の学びが子どもたちの人としての成長に繋がる工夫がされていると思いました。

余談になりますけれども、教科書の表題が「きみが いちばん ひかるとき」となっていますので、これはまさに道徳的な心があらわれているのかなと思い、推薦いたします。以上です。

○中馬委員 私は、子どもたちにとって、教科書は新たな出会いができるものだと思います。特に道徳科においては、物語の登場人物の生き方や葛藤、自分の悩みや思いがずっと落ちていくような胸に響くメッセージや言葉との出会いは、その後の人生に影響を与えることもあります。東京書籍の教科書は、表紙をめくった最初の見開きページに、友達や他者との関わり、自分自身のことなど、各学年の発達段階に合わせた詩が掲載されています。その詩に込められたメッセージに出会った子どもたちが、自分の心を深く見つめている姿が想像できるので、私は東京書籍の教科書がよいかと思います。

○赤坂委員 私も東京書籍がよいと思っております。道徳の授業では、児童に道徳的価値の内面的自覚を図ること、それから自己の生き方についての考えを深めさせること、そして、道徳的実践力を育むことが大切だと私は考えております。そして、そのような力は、道徳の授業を要としながら、特別活動や総合的な学習、各教科等と関連を図りながら、計画的、発展的な指導していくことで身に付くと考えております。

東京書籍の教科書は、他教科や日常生活の繋がりを意識できるよう、多様なテーマを扱うコラム「つながる・広がる」があるのですが、それが掲載されており、道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通して、児童の道徳性を養うことに繋がるものになっていると思います。総合単元的な道徳学習ですね、これが展開できるような教科書になっているのが非常に優れていると思います。よって私は東京書籍を推します。以上です。

○伊藤委員 中馬委員の意見にもありましたが、東京書籍の教科書は、最初に「どんな自分もほん

とうの自分」「ちがうっておもしろい」「気持ちがわかると気持ちが変わる」など、ありました。よいですね、答えが一つではない道徳的な課題を、一人ひとりの子どもたちが自分自身の問題として捉え、「考える道徳」、「議論する道徳」を展開することが求められています。そのため、授業の中で、友達の意見に共感的に耳を傾けつつ、自分の意見をしっかりと伝える活動を設定することが大切だと考えます。

東京書籍の教科書は、巻末に自分の心の中を見つめるためのツールが設けられており、子どもたちが自分の考えを持ち、他者と対話したり協働したりしながら、物事を多面的多角的に考えることができると思います。よって、私は、東京書籍の教科書がよろしいと考えます。以上です。

○教育長 ご意見も出尽くしたようですが、よろしいでしょうか。

委員の皆様のご審議から、茅ヶ崎市の児童にふさわしいと思われる道徳の教科書の発行者は東京書籍と考えますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、道徳につきましては、東京書籍の教科書を採択することに決めます。

それでは、32ページの別紙資料1で、これまで決定した発行者を確認して参りたいと思います。事務局の方でこれまでの審議で絞り込まれた、教科書発行者を確認していただきますでしょうか。

○学校教育指導課長 それでは、これまでにご審議いただき、採択が決定いたしました教科書発行者名を確認させていただきます。

この場では、発行者の略称のみ入力して参りますので、前方スクリーンをご覧の上、ご確認ください。なお、発行者の番号や教科書の記号・番号、書名については、事務局で後程記入させていただきます。

それでは、国語より順番に確認させていただきます。

国語・光村図書出版、書写・光村図書出版、社会・教育出版、地図・帝国書院、算数・東京書籍、理科・大日本図書、生活・大日本図書、音楽・教育出版、図画工作・開隆堂出版、家庭・東京書籍、保健・東京書籍、英語・教育出版、道徳・東京書籍、以上でございます。

○教育長 ありがとうございます。

続きまして、令和6年度使用小学校特別支援学級教科用図書の採択に移ります。担当事務局より説明をお願いいたします。

○学校教育指導課長 それでは、学校教育指導課長よりご説明申し上げます。

議案書33ページにございます別紙資料2をご覧くださいと思います。小学校特別支援学級教科用図書につきましては、教科書の発行者が限られており、表にお示ししたもののみとなっております。従いまして、発行者の番号、発行者等すべてを記載したものが別紙資料2となりますことをご承知おきいただきたいと思います。以上です。

○教育長 ありがとうございます。

令和6年度使用小学校特別支援学級教科用図書は、発行者が限られていて、別紙資料2の表にあるもののみの発行ということです。別紙資料2の確認をしていただくことで、採択ということよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。

それでは特にご意見がないようですので、令和6年度使用小学校特別支援学級教科用図書は、別紙資料2に示した教科書を採択いたしますので、(案)をとってください。

以上で令和6年度使用小学校及び特別支援学級教科用図書の採択はすべて終了いたします。

○学校教育指導課長 長時間にわたりご審議ありがとうございました。

発行者の番号や署名等につきましては、事務局で記入させていただき、公開させていただくこととなりますことを承知おきください。以上でございます。

○教育長 ありがとうございます。

以上で本日の議題はすべて終了いたしました。これをもちまして、本日の臨時会を終了いたします。本日はありがとうございました。

午後4時36分閉会

ここに会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、次により署名します。

教育長

委 員

委 員

委 員

委 員